

本工事の完成時には、以下に示す「道路施設基本データ」を作成し、監督職員に提出するものとする。ただし、本工事に該当しない施設の台帳は作成しないものとする。

なお、完成後でも、発注者は受注者に対して「道路施設基本データ」の内容について、説明を求めることがある。

1. 道路施設基本データの種類

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
道路構造	C020	縦断勾配	付 属 物 お よ び 付 属 施 設	E060	道路情報板
	C030	平面線形		E070	交通遮断機
	C050	舗装		E080	I . T . V
	C060	道路交差点		E090	車両感知器
	C070	鉄道交差点		E100	車両諸元計測施設
	C080	歩道及び自転車歩行者道		E110	気象観測施設
	C090	独立専用自歩道		E120	災害予知装置
	C100	中央帯		E130	自動車駐車場等
	C110	環境施設帯		E140	自転車駐車場
構造物	D010	橋梁		E150	雪崩防止施設
	D020	橋側歩道橋		E160	落石防止施設
	D030	横断歩道橋		E170	消雪パイプ
	D040	トンネル		E180	ロードヒーティング
	D050	洞門		E190	除雪ステーション
	D060	スノーシェッド		E200	防災備蓄
	D070	地下横断歩道		E210	共同溝
	D080	道路BOX等		E220	C A B 電線共同溝
	D090	横断BOX等		E230	植栽
	D100	パイプカルバート		E240	遮音施設
	D120	擁壁	E250	遮光フェンス	
D130	スノーシェルター	E270	流雪溝		
	E010	防護柵	E310	防雪林	
	E020	道路照明	E320	路側放送	
	E030	視線誘導標（反射式）	E330	光ケーブル施設	
	E040	視線誘導標（自光式）	E340	道路反射鏡	
	E050	道路標識	E350	ビーコン	

2. 道路施設基本データの作成は、別に定める『道路施設基本データ作成要領』によるものとする。

3. 道路施設基本データは、『道路施設基本データ入力支援システム』で作成する。

http://.nilim-cdrw.jp/rd_tool.html

4. 道路施設基本データ作成にあたって工事番号は、CORINS登録時の「工事契約コード番号」とする。

5. 道路施設基本データに係わる提出物として、以下のものを提出する。なお、道路施設基本データの作成部数は、各1部とする。

- ① 道路施設基本データ総括表
 - ② 道路施設基本データ一覧表
 - ③ 道路施設基本データ詳細表
 - ④ 道路施設基本データ
 - ⑤ 道路施設位置図
 - ⑥ 道路施設一般図
 - ⑦ 現況写真
 - ⑧ 施工時における施設情報の関連資料
- ※ ④から⑦を電子データ媒体（CD-R 又は DVD）にて提出する。

別紙様式-0-1

【低価格理由とその詳細】

番号	低価格理由	低価格理由の詳細内容
①	資材費の低減	生石灰、セメント系固化材を材料納入品協力会社から7%引きで購入。コンクリート2次製品は19%引きで購入。生コンクリートはグループ会社から20%引きで購入
②		
③	機械経費の低減	自社保有の建設機械車両(全100台)を使用。ダンプトラック運搬はグループ会社を中心に使用し運賃を削減。
④		
⑤	作業効率の向上	現場経験豊富な熟練したオペレータによるロスのない重機作業。仕上がり精度の高い法面整形。補助労務を必要としない程丁寧な仕上りの床舗作業。
⑥	下請業者の協力	施工協力会社に植生基材吹付工を外注し、設計想定より10%引きとする。
⑦	経費の低減	冬期間においても会社から現場まで45分程度で到着する。
⑧	現場管理費の低減	パソコン、デジカメ、プリンタ、仮設資材等を所有している。
⑨	安全資機材の低減	安全標識額を所有している。
⑩	本支店経費の低減	役員報酬、事務員給料を未計上。
⑪		
⑫	受注実績の取得	国交省発注工事の受注実績の取得
⑬		
⑭	その他	作業員の雇用確保、重機械の稼働率向上

別紙様式-0-2

【比較表-1】

積算内訳書の比較表

記入要領	積算内訳書の比較表											
	工事区分・工種・種別	単位	入札時				工事完成時				備考	
			官積算(予定価格)*		元請(当初予定)		元請(完成時実績)		官積算(最終)*			
数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	元請/官積 (%)	元請/官積 (%)	
道路土工	式	1		1		1		1				
地盤改良工	式	1		1		1		1				
法面工	式	1		1		1		1				
カルバート工	式	1		1		1		1				
排水構造物工	式	1		1		1		1				
構造物撤去工	式	1		1		1		1				
仮設工	式	1		1		1		1				
直接工事費	式	1		1		1		1				
共通仮設費	式	1		1		1		1				
共通仮設費	式	1		1		1		1				
純工事費	式	1		1		1		1				
現場管理費	式	1		1		1		1				
工事原価	式	1		1		1		1				
一般管理費	式	1		1		1		1				
基礎工	式	1		1		1		1				
工事価格	式	1		1		1		1				

〇〇道路改良工事

- 1) 見積り等積算根拠を示すものがあれば添付する。
- 2) 数量総括表に対応する内訳書にして下さい。
- 3) 入札時の元請(当初予定)欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認して下さい。
- 4) 工事完成時の元請(完成時実績)、官積算(最終)欄は、それぞれ調査票の直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等および工事価格と合致するか確認して下さい。
- 5) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

別紙様式-0-0-3

【比較表-2】

内訳書に対する明細書の比較表

1) 本様式は、比較表-1)に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。

2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名	単位	入札時						工事完成時						備考		
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※					
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額			
道路土工	式	1			1			1			1					
掘削工	〃	1			1			1			1					
掘削(土砂)	m3	39,300			39,300			35,800			1					
掘削(軟岩)	〃	2,250			2,250			0			1					
路体盛土工	式	1			1			1			36					
路体(流用土)	m3	4,100			4,100			10,600			14					
法面整形工	式	1			1			1			30					
法面整形(切土部)	m2	5,920			5,920			5,010			9					
法面整形(切土部)	〃	250			250			0			1					
法面整形(盛土)	〃	330			330			160			11					
地盤改良工	式	1			1			1			1					
安定処理工	〃	1			1			1			1					
基礎安定処理 45kg/m3	m2	1,000			1,000			0			1					
〃 53.6kg/m3 t=0.5m	〃	0			0			115			1					
〃 53.6kg/m3 t=0.8m	〃	0			0			785			2					
路体安定処理 30kg/m3	m3	4,100			4,100			0			2					
路体安定処理 33kg/m3	m3	0			0			13,100			200					

〇〇道路改良工事

【比較表-4】

資材購入先一覧(主要資材)の比較表

記入要領	1) 入札者との関係]欄は、購入先予定業者との関係を記入。(例)協力会社、同族会社、資本提携会社等
	2) 官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入してください。
	3) 総額で値引きし、個々の品目の値引き単価が特定できない場合、実績単価欄は契約単価を記入し、総額値引き率を備考欄に記入する。
	4) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。
	5) 入札時の欄は、入札時に事情報取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要資材(購入価格が工事費の約0.3%以上の資材)とし、軽微な資材は省略する。
	6) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名	品名規格	単位	入札時(当初の予定)				工事完成時(実績)				備考			
			数量	単価	購入先名		数量	単価	購入先名			※官単価(最終)		
					業者名	所在地			業者名	所在地			入札者との関係	入札者との関係
生コンクリート	18-8-40	m ³	61	13,000	〇〇生コンクリート	〇〇町△△	同族会社	58	13,000	〇〇生コンクリート	〇〇町△△	同族会社	16,100	
生石灰		t	184.5	14,500	△△セメント商事	〇〇市□□町	協力会社	544	14,500	△△セメント商事	〇〇市□□町	協力会社	16,500	
セメント系固化粧剤	タフロック3E	〃	65	9,500	〃	〃	〃	60	9,500	〃	〃	〃	11,400	
コンクリート2次製品	BOX600*600	本	18	49,500	(株)□□□	〇〇市△△町	〃	10	49,500	(株)□□□	〇〇市△△町	〃	80,200	市場単価
〃	BF300*2000	〃	290	2,100	〃	〃	〃	185	2,100	〃	〃	〃	2,936	
〃	BF400*2000	〃	59	3,360	〃	〃	〃		0				0	
〃	BF500*2000	〃	51	4,530	〃	〃	〃	21	4,530	〃	〃	〃	6,040	
〃	BF600*2000	〃	113	5,520	〃	〃	〃	44	5,520	〃	〃	〃	7,400	

〇〇道路改良工事

労務者の確保計画の比較表

工事名	職種	入札時(当初の予定)			工事完成時(実績)			備考
		単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等	単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等	
記入要領	道路土工、地盤改良工	(17,000)	(320)	自社		自社	17,716	
道路土工	運転手	17,000	220	〇〇運輸(株) 同族会社		〇〇運輸(株) 同族会社	17,716	
排水構造物工	オペレーター 普通作業員	(17,000) (15,000)	(60) (225)	自社 自社		自社 自社	17,716 14,626	
植生工	法面工	18,000	225	協力会社 〇〇防災(株)		協力会社 〇〇防災(株)	18,746	
仮設工	普通作業員	(15,000)	(7)	自社		自社	14,626	

〇〇道路改良工事

- 1) 下請け労務者と自社労務者を下記のように区分して下さい。
 - ・下請け労務者は()なしで記入する。
 - ・自社労務者は()内に記入する。
- 2) 下請け会社との関係も明記する。
- 3) 労務単価は必ず記入する。
- 4) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用して下さい。
- 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工種別労働者配置計画の比較表

記入要領	○○道路改良工事																	
	工種	種別	入札時(当初の予定)				工事完成時(実績)				備考							
			世話役	普通作業員(特殊含)	配管工	電工	オベ	計	世話役	普通作業員(特殊含)		配管工	電工	オベ	計			
	(例) 土工	床掘工・埋戻工・残土処理	1	2														
	土工	地盤改良工・掘削工・路体盛土工・残土処理工	1	1						8	1				8	10		
	土工	法面整形工	1	1						2	1				2	40		
	法面工	種生基材吹付工	1	4						1	1				1	7		
	カルバート工	BOX工	1	4						1	1				1	5		
	排水構造物工	側溝工、集水軒工	1	3						1	1				1	5		
	仮設工	仮水路工	1	4						1	1				2	6		

- 1) 職種名は例示したもので、該当する職種名に変更して記入して下さい。
 2) 世話役が、他の工種または他の工事と兼任している場合、正当な人数になるように按分してください。
 3) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用してください。

別紙様式-0-10

【諸経費動向調査（工事費）】

費目	元組・元組別注	元 持	金額単位:千円									
			元組外注 会社	1 〇〇建設 建設土工	2 〇〇建設 排水機運土工	3 〇〇建設 法面工	4 〇〇建設 造路土工	5 〇〇建設 交通機運	6 〇〇建設 特殊舗装・材料	7 〇〇建設 付帯工		
1) 直接工事費	50,972	17,000	33,982	20,914	1,441	8,850	2,800	0	0	0	0	158
(1) 材料費	22,562	12,620	11,942	6,627	1,197	4,954	982	0	0	0	0	129
(2) 労務費	15,222	0	15,222	9,290	1,245	2,224	1,130	0	0	0	0	29
(3) 消耗機具等消耗材	2,441	2,441	6,788	5,754	24	820	138	0	0	0	0	20
(4) 労務機具等修繕費・管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5) 管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(7) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(8) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(10) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(11) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(12) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(13) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(14) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(15) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(16) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(17) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(18) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(19) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(20) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(21) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(22) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(23) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(24) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(25) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(26) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(27) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(28) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(29) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(30) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(31) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(32) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(33) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(34) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(35) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(36) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(37) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(38) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(39) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(40) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(41) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(42) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(43) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(44) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(45) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(46) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(47) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(48) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(49) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(50) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(51) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(52) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(53) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(54) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(55) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(56) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(57) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(58) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(59) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(60) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(61) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(62) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(63) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(64) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(65) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(66) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(67) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(68) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(69) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(70) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(71) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(72) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(73) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(74) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(75) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(76) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(77) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(78) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(79) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(80) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(81) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(82) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(83) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(84) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(85) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(86) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(87) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(88) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(89) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(90) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(91) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(92) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(93) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(94) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(95) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(96) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(97) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(98) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(99) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(100) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(101) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(102) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(103) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(104) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(105) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(106) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(107) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(108) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(109) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(110) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(111) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(112) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(113) 仮設費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(114) 仮設費	0	0	0									

工事関係電子書類一覧表(作成書類の役割分担・位置付け)

※必要に応じ、項目を追加し、作成書類の役割分担を明確化すること

※本様式もASP(情報共有システム)で電子で管理すること

▼不要

作成時期	種別	工事関係書類		作成書類役割分担		発注者作成書類の位置付け				受注者作成書類の位置付け				工事書類作成媒体の事前協議		備考		
		No.	書類名称	書類作成の根拠	標準様式(案) (様式No)	発注者	受注者	指示	通知	提出	提示	監督職員 へ連絡	監督職員 へ納品	電子 ☆	紙 ◎			
作成書類の役割分担	設計審査会での確認	1	【事例】工事のお知らせ(自治会、住民等への通知)	共通仕様書1-1-1-30-7	-	○										令和〇年〇月〇日設計審査会で確認		
		2	【事例】関係機関(〇〇〇)協議結果に基づく届出	共通仕様書1-1-1-30-2	-	○											令和〇年〇月〇日設計審査会で確認	
		3	【事例】工事汚染対策法第4条1項に基づく届出	土壌汚染対策法第4条1項	-	○											土地の形質の変更に着手する日の30日前までに届出	
		4	【事例】概算概略発注等のため関係機関協議が実施中、未了の場合】関係機関(〇〇〇)との設計・施工協議	河川法、道路法、道路交通法等の種別法	-	○											令和〇年〇月〇日設計審査会で確認	
		5	【事例】概算概略発注等のため関係機関協議が実施中、未了の場合】占用物件(〇〇〇)の移設の調整、監督処分	河川法、道路法	-	○											令和〇年〇月〇日設計審査会で確認	
		6	【事例】設計図書、条件明示と現地の不整合による協議資料	共通仕様書1-1-1-3-2	-	○					○						令和〇年〇月〇日設計審査会で確認	
		7	【事例】設計図書、条件明示と現地の不整合による設計図修正(構造計算の修正も)や大規模修正	共通仕様書1-1-1-15	-	○									○		令和〇年〇月〇日設計審査会で確認 個別の図面修正等について受発注者間で協議し役割分担を決定 (受注者が実施する場合は、設計費用を発注者が負担する)	
	契約図書	設計図書	8	工事請負契約書	-	-	○											
			9	共通仕様書	-	-	○											
			10	特記仕様書	-	-	○											
			11	発注図書	-	-	○											
			12	現場説明書	-	-	○											
			13	質問回答書	-	-	○											
			14	工事数量総括表	-	-	○											
工事着手前	契約関係書類	15	現場代理人等通知書	工事請負契約書第10条1項	様式-1	○				○								
		16	請負代金内訳書	工事請負契約書第3条1項 共通仕様書3-1-1-1	様式-2	○					○							
		17	工事工程表	工事請負契約書第3条1項	様式-3	○						○						
		18	掛金収納書(電子申請方式)	現設時指導事項(R3.2.31付 国交公発第71号) 共通仕様書1-1-1-4-6	様式-4	○						○					電子申請を使用しない場合は、「掛金収納書提出用台紙」に掛金収納書を張り付けたうえで、提出する。なお、スキャン、捺印によるデータ化も可とする。	
		19	建退保証証受払簿	現設時指導事項(R3.2.31付 国交公発第71号)	-	○						○						
		20	工事別共済証証受払簿	現設時指導事項(R3.2.31付 国交公発第71号)	-	○						○						
		21	掛金充当実績総括表	現設時指導事項(R3.2.31付 国交公発第71号)	-	○						○						
		22	被共済者就労状況報告書	現設時指導事項(R3.2.31付 国交公発第71号)	-	○						○						
		23	掛金充当書	現設時指導事項(R3.2.31付 国交公発第71号)	-	○						○						
		24	請求書(前払金)	工事請負契約書第34条1項	様式-5	○								○				
		25	VE提案書(契約後VE時)	特記仕様書	様式-6	○									○		契約締結後にVE提案を行う場合に提出する。	
		26	品質証明書通知書	共通仕様書3-1-1-6-5	様式-7	○											契約図書で規定された場合に提出する。	
		その他	27	再生資源利用計画書 -建設資材搬入工用-	共通仕様書1-1-1-19-4	-	○											該当する建設資材を搬入する予定がある場合、建設副産物情報交換システムにより作成し、施工計画書へ含めて提出する。
			28	再生資源利用促進計画書 -建設副産物搬出工用-	共通仕様書1-1-1-19-5	-	○											該当する建設副産物を搬出する予定がある場合、建設副産物情報交換システムにより作成し、施工計画書へ含めて提出する。
29	建設発生土搬出願書		特記仕様書	-	○													
30	建設発生土搬出のお知らせ		特記仕様書	-	○													
工事書類	1 施工計画	① 施工計画	31	施工計画書	共通仕様書1-1-1-4-1	-	○										工事着手前又は施工方法が確定した時期に監督職員に提出 標準な変更が生じた場合(工期や数量等の軽微な変更以外)には、その都度当該工事に着手する前に、変更施工計画書を監督職員に提出する。	
			32	ISO9001品質計画書	特記仕様書	-	○											
			33	設計図書の照査確認資料 (契約書18条に該当する事実があった場合)	共通仕様書1-1-1-3-2	-	○											
			34	工事測量成果表(仮BM及び多角点の設置)	共通仕様書1-1-1-30-1	-	○											
			35	工事測量結果(設計図書との照合) (設計図書と差異あり)	-	-	○											設計図書と差異があった場合にのみ監督職員に提出する。
			36	-	-	-	-	○										
2 施工体制	② 施工体制	37	施工体制台帳	共通仕様書1-1-1-10-1	-	○					○					・「施工体制台帳に係る書類の提出について」の一節改正について(令和3年3月5日付け国交技第319号、電第整第16号)に基づき作成する。 ・建設業者及び一次下請人の 整備表以外は不要		
		38	施工体系図	共通仕様書1-1-1-10-2	-	○					○							
		39	作業員名簿	共通仕様書1-1-1-10-1	-	○						○						
3 施工状況	③ 施工管理	40	工事打合せ簿(指示)	共通仕様書1-1-1-2-15	様式-9	○												
		41	工事打合せ簿(協議)	共通仕様書1-1-1-2-17	様式-9	○										協議の権限となる一般的な標準事項の欄には添付不要。		
		42	工事打合せ簿(承諾)	共通仕様書1-1-1-2-16	様式-9	○												
		43	工事打合せ簿(提出)	共通仕様書1-1-1-2-18	様式-9	○												
		44	工事打合せ簿(報告)	共通仕様書1-1-1-2-20	様式-9	○												

工事関係電子書類一覧表(作成書類の役割分担・位置付け)

※必要に応じ、項目を追加し、作成書類の役割分担を明確化すること

※本様式もASP(情報共有システム)で電子で管理すること

▼不要

工事関係書類				工事関係書類の標準様式(案)(様式No)	作成書類の役割分担		発注者作成書類の位置づけ		受注者作成書類の位置付け					工事書類作成媒体の事前協議		備考		
作成時期	種別	No.	書類名称		書類作成の根拠	発注者	受注者	指示	通知	提出		提示		監督職員へ連絡	監督職員へ納品		電子文	紙
										受注者	監督職員	契約担当課	発注担当課					
		45	材料確認書	共通仕様書2-1-2-4	様式-10	○				○								設計図書に記載しているもの以外は材料確認書の提出は不要
		46	材料納入伝票	共通仕様書2-1-2-1	-	○						○						設計図書で指定した材料や監督職員から請求があった場合は提出する。

工事関係電子書類一覧表(作成書類の役割分担・位置付け)

※必要に応じ、項目を追加し、作成書類の役割分担を明確化すること

※本様式もASP(情報共有システム)で電子で管理すること

▼不要

作成時期	工事関係書類			工事関係書類の標準様式(案)(様式No)	作成書類の役割分担		受注者作成書類の位置付け						工事書類作成媒体の事前協議		備考				
	種別	No.	書類名称		書類作成の根拠	発注者	受注者	指示	通知	提出	提示	監督職員へ連絡	監督職員へ納品	電子☆		紙◎			
3 施工状況	③ 施工管理	47	段階確認書	共通仕様書3-1-1-4-6	様式-11	○			○							<ul style="list-style-type: none"> 契約図書で規定された場合のみ対象 段階確認書に添付する資料は新たに作成する必要なし 監督職員又は現場技術員が臨場した場合の状況写真等は不要 監督職員又は現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略できる 建設・立会依積書添付する資料を新たに作成する必要はない 監督職員又は現場技術員が臨場した場合の状況写真等は不要 監督職員又は現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略できる 			
		48	確認・立会依積書	共通仕様書3-1-1-4-1	様式-12				○										
		49	休日・夜間作業届	共通仕様書1-1-1-37-2	—	—	○											ASP、電子メールなどにより連絡する。ただし、現場上の工事については「提出」とする。	
	④ 安全管理	50	安全教育訓練実施資料	共通仕様書1-1-1-27-3	—	—	○				○							監督職員へ実施内容の提示のみで提出不要。	
		51	工事事故速報	共通仕様書1-1-1-30	様式-13		○			○								事故が発生した場合、直ちに連絡するとともに、事故の概要を書面により速やかに報告する。	
		52	工事事故報告書	共通仕様書1-1-1-30	—	—	○					○						事故報告書はSAS(建設工事事故データベースシステム)により作成して提出するほか、監督職員より請求があった資料を提出する。	
	⑤ 工程管理	53	工事履行報告書	工事請負契約書第11条 共通仕様書1-1-1-25	様式-14		○			○								工程の進捗状況を把握するため、実施工程表の提示を求めるとある。積算資料の添付不要。	
		⑥ 品質管理	54	品質規格証明資料	共通仕様書2-1-2-1	—	—			○								指定材料のみ提出(設計図書で指定した材料を含む)。	
	既済部分検査	中間前払金	55	認定請求書	工事請負契約書第35条4項	様式-15					○								
			56	請求書(中間前払金)	工事請負契約書第35条3項	様式-5					○								
57			指定部分完成通知書	工事請負契約書第39条1項	様式-16					○									
既済部分検査		58	指定部分引渡書	工事請負契約書第39条1項	様式-17					○									
		59	請求書(指定部分完成前払金)	工事請負契約書第39条1項	様式-5					○									
		60	出来高内訳書	工事請負契約書第38条2項 共通仕様書1-1-1-22-2	様式-18					○									
既済部分検査		61	請負工事既済部分検査請求書	工事請負契約書第38条2項	様式-19					○									
		62	出来形報告書(数量内訳書、出来形図)	共通仕様書3-1-1-7-2	—	—	○											中間技術検査時にも提出する。	
		63	出来高内訳書	工事請負契約書第38条2項 共通仕様書1-1-1-22-2	様式-18					○									
修繕		64	請求書(部分払金)	工事請負契約書第38条5項	様式-5					○									
		65	修繕完了届	工事請負契約書第32条1項 工事請負契約書第32条6項	様式-21					○									
		66	部分使用承諾書	工事請負契約書第34条1項	様式-22					○								部分使用がある場合に提出する。	
工務延期		67	工務延期届	工事請負契約書第16条~22条	様式-23					○									
		68	支給品受領書	工事請負契約書第15条3項	様式-24					○								工務延期が発生する場合に提出する。	
		69	支給品精算書	共通仕様書1-1-1-17-3	様式-25					○								支給品がある場合に提出する。	
支給品	70	建設機械使用実績報告書	共通仕様書1-1-1-17-5	様式-26					○										
	71	建設機械借入・返納書	工事請負契約書第15条3項	様式-27					○								建設機械の貸与がある場合に提出する。		
	72	現場発生品品請書	共通仕様書1-1-1-18	様式-28					○								現場発生品がある場合に提出する。		
その他	73	出来形報告書(数量内訳書、出来形図)	共通仕様書3-1-1-7	—	—				○								既済部分検査等の際に提出する。		
	74	産業廃棄物管理表(マニフェスト)	共通仕様書1-1-1-19-2	—	—					○							産業廃棄物がある場合に監督職員へ提示すればよく、コピーの提出不要。		
	75	建設発生土搬出調査	特記仕様書	—	—				○										
	76	建設発生土搬出のお知らせ	特記仕様書	—	—				○										
契約関係書類	77	新技術活用関係資料	特記仕様書	—	—				○								新技術情報提供システム(NETIS)に登録されている技術を活用して工事施工する場合に提出する。		
	78	完成通知書	工事請負契約書第32条1項	様式-29					○										
	79	引渡書	工事請負契約書第32条4項	様式-30					○										
	80	請求書(完成代金)	工事請負契約書第33条1項	様式-5					○										
	工事書類	81	出来形管理図表	共通仕様書1-1-1-24-6	様式-31					○								<ul style="list-style-type: none"> 施工中は提示とし、工事完成時に提出とする。 出来形の測定位置が分かるように断面を記載する。 測定結果(断面表、測定結果一覧表、出来形管理図(土層能力図)、度数表(セクタグラム)については、出来形管理図表にて代用可能なため提出不要。 	
		82	品質管理図表	共通仕様書1-1-1-24-6	様式-32					○								<ul style="list-style-type: none"> 施工中は提示とし、工事完成時に提出とする。 品質の測定位置が分かるように断面を記載する。 測定結果(断面表、測定結果一覧表、品質管理図(土層能力図)、度数表(セクタグラム)については、品質管理図表にて代用可能なため提出不要。 	
		83	品質証明書	特記仕様書	様式-33					○								<ul style="list-style-type: none"> 契約図書で規定された場合に提出する。 品質証明に関する添付書類は提出不要 	
		84	工事写真	共通仕様書1-1-1-24-8	—	—	○			○								<ul style="list-style-type: none"> 工事写真の撮影にあたっては、写真管理基準(案)を適用する。 電子納品等運用ガイドライン(案)【土木工事編】に基づき提出する。 紙の工事写真の提出不要 不可視部分を含め、監督職員又は現場技術員が臨場して確認した箇所は、出来形管理写真等の撮影は省略 監督職員等が確認や立会っている状況写真等も不要 	
		85	総合評価実施報告書	特記仕様書	—	—				○									総合評価実施報告書方式を適用して契約した場合に提出する。
		86	創業工夫・社会性等に関する実施状況	共通仕様書3-1-1-10	様式-34					○									自ら立案実施した創業工夫や地域社会への貢献として、報告可能な項目を実施すれば提出できる。1工事に付き最大10項目までの提出とする。
工事完成図書	87	工事完成図	共通仕様書1-1-1-20 共通仕様書3-1-1-7	—	—				○								<ul style="list-style-type: none"> 電子納品等運用ガイドライン(案)【土木工事編】に基づき、原則、電子成果品で納品する。 電子納品等運用ガイドライン(案)【土木工事編】に基づき、原則、電子成果品で納品する。 		
	88	工事管理台帳	共通仕様書3-1-1-7	—	—				○								<ul style="list-style-type: none"> 電子納品等運用ガイドライン(案)【土木工事編】に基づき、原則、電子成果品で納品する。 		
その他	89	再生資源利用実施書(建設資材搬入工事用)	共通仕様書1-1-1-19-6	—	—				○								該当する建設資材を搬入した場合、建設副産物情報交換システムにより作成して提出する。		
	90	再生資源利用促進実施書(建設副産物搬出工事用)	共通仕様書1-1-1-19-6	—	—				○								該当する建設副産物を搬出した場合、建設副産物情報交換システムにより作成して提出する。		

工事関係電子書類一覧表(作成書類の役割分担・位置付け)

※必要に応じ、項目を追加し、作成書類の役割分担を明確化すること

※本様式もASP(情報共有システム)で電子で管理すること

▼不要

工事関係書類				工事関係書類の標準様式(案)(様式No)	作成書類役割分担		発注者作成書類の位置づけ		受注者作成書類の位置付け					工事書類作成媒体の事前協議		備考
作成時期	種別	No.	書類名称		書類作成の根拠	発注者	受注者	指示	通知	提出	提示	監督職員へ連絡	監督職員へ納品	電子文	紙	
							受注者	受注者	監督職員	契約担当課	発注担当課	受注者保管				
工事後完了	その他	90	低入札価格調査(間接工事費等諸経費動向調査票)	共通仕様書1-1-1-13-5-3	-	○	○					○				「低入札価格審査制度」の調査対象工事の場合に完成日から30日以内に提出する。

工期通知書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

(分任) 支出負担行為担当官
〇〇 〇〇 様

住所
商号又は名称
氏名 印

次のとおり工期を定めたので通知します。

工 事 名	〇〇〇〇工事
工 事 場 所	〇〇県〇〇市〇〇
契約予定年月日	平成 年 月 日
工 事 の 始 期	平成 年 月 日
工 期	工 事 の 始 期 か ら (〇〇〇日間) 平成 年 月 日 まで

※工事の締結までに提出すること。

※契約書には本通知書により通知した工期（工期の始期及び終期）を記載する。

【遠隔臨場に関する基礎調査様式】

●基本情報

工番号	
会社名	
担当者名	
連絡先	
アドレス	

●遠隔臨場を適用した項目

No.	適用種別 (選択)	工 種 (自由記述)	細 別 (自由記述)	確認時期 (自由記述)	確認項目 (自由記述)	適用理由 (自由記述)	その他意見 (自由記述)
記入例	故障確認	電気工	電気版	打込時	異常	・検点及び目視確認が困難だったため ・確認頻度が多くあり、現場作業の効率化を図るために実施	

※行が不足する場合は、適宜行を追加願います。

●遠隔臨場を適用せず、従来の現場臨場とした項目

No.	適用種別 (選択)	工 種 (自由記述)	細 別 (自由記述)	確認時期 (自由記述)	確認項目 (自由記述)	適用理由 (自由記述)	その他意見 (自由記述)
記入例	故障確認	電気工		土質の悪化した時	土質、変化位置	・土(岩)質の確認は映像では困難のため	

※行が不足する場合は、適宜行を追加願います。

●遠隔臨場に使用した機器

No.	機器構成 (選択)	遠隔臨場システムの名称 (自由記述)	遠隔臨場システムのメーカー名 (自由記述)	監督職員PCとのセキュリティ上の通信可否 (つながる or つながらない)
記入例	ネットワークシステム	Generation-eye	(株) Aibs	つながらない

※行が不足する場合は、適宜行を追加願います。

別紙様式-2

様式-6(2)

番号	項目内容
----	------

(1) 設計図書の定める内容と、VE提案の内容の対比	
【現状】 _____ 略図等	【改善案】 _____ 略図等

(2) 提案理由

(3) VE提案の実施方法 (材料仕様、施工要領等を記入)

(4) 品質保証の証明 (品質保証書の添付等)

(5) その他

別紙様式－４

様式－６（４）

番 号		項目内容	
-----	--	------	--

(1) 工業所有権等の排他的権利を含むV E 提案である場合、その取扱いに関する事項

(2) V E 提案が採用された場合に留意すべき事項（提案内容の公表に係る所見等）

ISO9001 認証取得活用監督業務等申請書

平成 年 月 日

総括監督員
関東地方整備局
〇〇〇〇事務所長 殿

住所
商号又は名称
代表者氏名

代表者印

〇〇〇〇建設工事について、ISO9001 認証取得を活用した監督業務等の取扱いを受けたく、下記のとおり申請します。

記

1. 工 事 名 〇〇地区改良工事
2. 契約締結日 平成 年 月 日
3. 工 期 自：平成〇〇年〇月〇日 至：平成〇〇年〇月〇日
4. 添付書類
 - ① ISO9001 認証の取得に係る登録証の写し
 - ② ISO9001 の審査に係る直近の審査報告書の写し
 - ③ ②の審査における合否判定結果の写し
 - ④ 本工事を担当する内部組織がISO9001 認証を取得していることを示す書類
 - ⑤ ISO9001 認証の範囲が、本工事の内容に一致していることを示す書類
 - ⑥ 平成〇〇年度及び平成〇〇年度に完成した地方整備局の所掌する全ての土木工事（又は営繕工事）の工事成績評定通知書の写し
 - ⑦ ⑥に該当工事が無い場合は、ISO9001 認証の取得以降における地方整備局の所掌する直近の工事成績評定通知書の写し

ISO9001 認証取消し等申出書

平成 年 月 日

総括監督員
関東地方整備局
〇〇〇〇事務所長 殿

住所
商号又は名称
代表者氏名

代表者印

平成〇〇年〇月〇日付けで承認された「〇〇〇〇地区改良工事」に関する ISO9001 認証取得を活用した監督業務等の取扱いについては、下記により品質マネジメントシステムの継続が困難であることを申出ます。

記

1. 申出の内容

- (例1) ISO9001 認証の取消し
- (例2) ISO9001 の定期(更新)審査で不適合
- (例3) ISO9001 審査登録機関の認定の取消し
- (その他、具体的に)

2. 添付書類

- (例) 申出の内容に応じて
 - ① ISO9001 認証の取消し通知の写し
 - ② ISO9001 の審査に係る審査報告書(合否判定結果)の写し

年月日：

品質証明書

工事名： _____

品質証明記事					
品質証明事項	実施日	箇所	品質証明員氏名	印	記事

社内検査した結果、工事請負工事請負契約書、図面、仕様書、その他関係図書に示された品質を確保していることを確認したので報告します。

受注者 住所
氏名

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工程関係	<input type="checkbox"/> 他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工事等に影響がある場合は、影響箇所及び他の工事の内容、開始又は完了の時期。 <input type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法。 <input type="checkbox"/> 当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合は、制約を受ける内容及びその協議内容、成立見込み時期。 <input type="checkbox"/> 関係機関、自治体等との協議の結果、特定された条件が付され当該工事の工程に影響がある場合は、その項目及び影響範囲。 <input checked="" type="checkbox"/> 余裕工期を設定して発注する工事については、工事の着手時期。 <input type="checkbox"/> 工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合は、その項目及び調査期間。又、地下埋設物等の移設が予定されている場合は、その移設期間。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。	<p>第48条</p> <p>第48条</p>
安全対策関係	<input type="checkbox"/> 交通安全施設等を指定する場合は、その内容、期間。 <input type="checkbox"/> 鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事での施工方法、作業時間等に制限がある場合は、その内容。 <input type="checkbox"/> 落石、雪崩、土砂崩落等に対する防護施設が必要な場合は、その内容。 <input type="checkbox"/> 交通誘導員、警戒船及び発破作業等の保全設備、保安要員の配置を指定する場合は又は発破作業等に制限がある場合は、その内容。 <input type="checkbox"/> 有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として、換気設備等が必要な場合は、その内容。	
仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合は、その内容、期間、条件等。 <input type="checkbox"/> 仮設備の構造及びその施工方法を指定する場合は、その構造及びその施工方法 <input type="checkbox"/> 仮設備の設計条件を指定する場合は、その内容。	
明示項目	明示事項	記載条項
建設副産物関係	<input type="checkbox"/> 建設発生土が発生する場合は、残土の受入場所及び仮置き場所までの距離、時間等の処分及び保管条件。 <input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要な場合は、その内容。 <input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合は、その処理方法、処理場等の処理条件。 なお、再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合は、その受入場所、距離、時間等の処分条件。	<p>第25条</p> <p>第25条</p>
その他	<input type="checkbox"/> 工事用資機材の保管及び仮置きが必要である場合は、その保管及び仮置き場所、期間、保管方法等。 <input type="checkbox"/> 工事現場発生品がある場合は、その品名、数量、現場内での再使用の有無、引き渡し場所等。 <input type="checkbox"/> 支給材料及び貸与品がある場合は、その品名、数量、品質、規格又は性能、引渡場所、引渡期間等。 <input type="checkbox"/> 関係機関・自治体等との近接協議に係る条件等その内容。 <input type="checkbox"/> 架設工法を指定する場合は、その施工方法及び施工条件。 <input type="checkbox"/> 工事用電力等を指定する場合は、その内容。 <input type="checkbox"/> 新技術・新工法・特許工法を指定する場合は、その内容。 <input type="checkbox"/> 部分使用を行う必要がある場合は、その箇所及び使用時期。 <input type="checkbox"/> 給水の必要のある場合は、取水箇所・方法等。	

証明書

工事（業務）名：_____

受注業者：_____

証明者：_____

個人情報記録された資料等について、廃棄又は消去したことを証明します。

※以下は、紙により提出する場合において、押印を省略する場合のみ記載すること。
連絡先は2以上記載すること。

本件責任者（会社名・部署名・氏名）：_____

担当者（会社名・部署名・氏名）：_____

連絡先1：_____

連絡先2：_____

（※証明者について

工事については、「現場代理人」又は「主任（監理）技術者」が行うものとする。
業務については、「管理技術者」が行うものとする。）

補修・補強工事調書の記入要領（案）

1. 目的

本要領（案）は、橋梁を対象とした補修・補強工事の概要を記録としてとりまとめ蓄積するための「補修・補強工事調書」の作成要領を示すものであり、この調書は竣工図書とする。

2. 調書作成の対象工事

補修・補強工事調書の作成対象工事は、橋梁完成後に実施された全ての補修・補強工事（再塗装工事、耐震対策や拡幅など機能向上を目的とした工事を含む。日常の維持工事は除く。）とする。

3. 補修・補強工事調書の記入方法

本調書は、対象橋梁の基本情報と補修・補強工事の基本情報を整理する。
記入方法は、以下のとおりとする。

- ・工事名 : 補修・補強工事名を記入する。
- ・施工会社 : 補修・補強工事を実施した施工会社名を記入する。
- ・補修・補強年月日 : 補修・補強工事の竣工年月日を記入する。
- ・工事概要 : 補修・補強工事の概要を 200 字程度以内で簡潔に記入する。
- ・設計会社 : 当該補修・補強の設計会社名を記入する。設計を工事に含めた場合は、施工会社名を記入する。
- ・設計活荷重 : 補修・補強設計に適用した活荷重を記入する。
- ・適用示方書 : 補修・補強設計に適用した示方書を記入する。
- ・工事費 : 補修・補強工事の経費等を含む全体工事費を百万円単位で記入する。
一工事に 2 橋以上の補修・補強が含まれる場合は、按分して当該橋梁分を記入する。
- ・工事内訳 : 補修・補強工事で採用した代表的な工法を、径間別、部位・部材区分別に、付表-1 から選択して記入する。なお、径間番号は定期点検調書（その 2）の径間番号を、部位・部材区分は対象とする部材名を、部材番号は補修・補強を実施した定期点検調書（その 4）の部材番号を記入する。
- ・再塗装仕様 : 補修・補強工事内容に再塗装が含まれる場合は、素地調整（ケレン）の分類と塗装仕様を記入する。

4. 様式及び記入例

補修・補強工事調書					
項目	内容				
地方整備局	〇〇 地方整備局				
事務所	△△ 事務所				
出張所	□□ 出張所				
路線名	####				
橋梁名	〇〇橋				
橋梁名(フリガナ)	マルマルハン				
工事名	〇〇橋他補修工事				
施工会社	◇◇工事株式会社				
補修・補強年月日	2000/3/31				
工事概要 (200字程度以内)	〇〇橋の第1径間において、活荷重の繰返し作用による疲労により発生したRC床版のひび割れ対策として、鋼板接着工法(厚さ4.5mm)、縦桁増設工法、ひびわれ注入を行った。また、主桁の再塗装、A1橋台のアルカリ骨材反応等に対して補修を行った。				
設計会社	□□□□コンサルtant(株)				
設計活荷重	B活荷重				
適用示方書	平成8年道路橋示方書 共通編、IIコンクリート橋編				
工事費(百万円)	90				
工事内訳	径間番号	部位	部材区分	部材番号	補修・補強工法
	1	床版	00	00	鋼板接着工法
	2	床版	00	00	桁増設工法
	3	床版	00	00	ひびわれ注入工法
	4	主桁	01.02.03.04.05	00	再塗装
	5	橋台	01.02	00	断面修復工法(プレハブ工法)
	6	排水ます	00	00	その他
	7				
	8				
	9				
10					
再塗装仕様	下塗り	エポキシ樹脂下塗り塗料			
	中塗り	ポリウレタン樹脂用中塗り塗料			
	上塗り	ポリウレタン樹脂上塗り塗料			
素地調整	3種ケレン				
調査作成年月日	2000/3/31				

※竣工年月日を西暦で記入する。

※工事概要を200字以内で簡潔に記入する。

※当該補修・補強の設計会社名(設計を工事に含めた場合は施工会社名)。

※補修・補強設計に適用した活荷重。

※補修・補強設計に適用した示方書。

※補修・補強工事の全体工事費(仮設費、経費を含む)を記入する。

※補修・補強工事で採用した工法を、径間別、部位・部材区分別に記入する。

※再塗装の場合の塗装仕様。

※西暦で記入する。

付表-1 補修・補強工法表

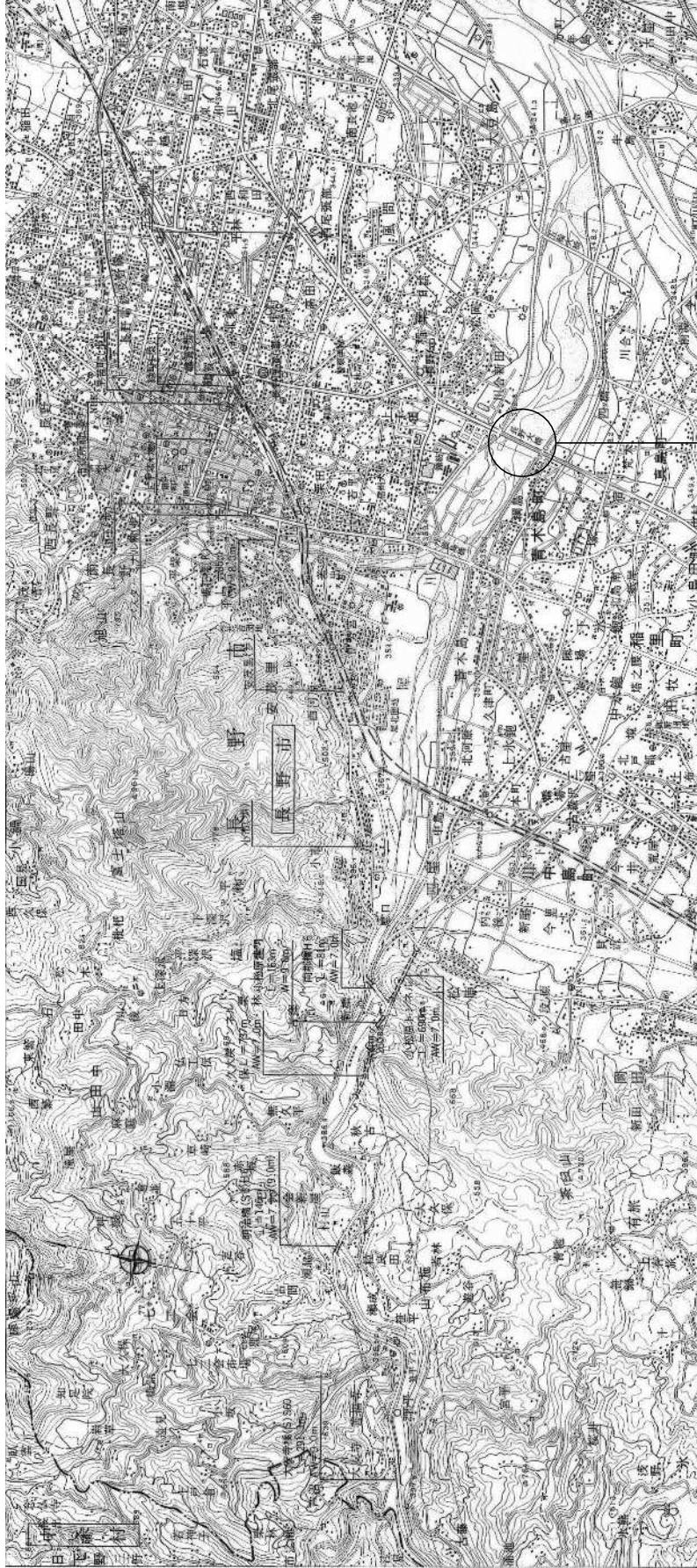
新規設置(橋梁付属物・支承含)
修復工法(橋梁付属物・支承含)
取替工法(橋梁付属物・支承含)
打換え工法(舗装)
矯正工法
ストップホール工法
添設補強工法
溶接補修工法
再塗装
補強材工法
桁増設工法
縦桁増設工法
添接板高力ボルト締付工法
支持工法
ひびわれ注入工法
U(V)カット(充填)工法
アンカー工法(ひび割れ縫い合わせ)
断面修復工法(打換え工法)
断面修復工法(吹付工法)
断面修復工法(パンチング工法)
断面修復工法(プレバックド工法)
表面保護工法(表面被覆工法)
表面保護工法(表面処理工法)
表面保護工法(埋設型砕工法)
床版防水の設置工
防錆工法
電気化学的補修(脱塩工法)
電気化学的補修(再アルカリ化工法)
電気防食工法
打継ぎ工法(構造部材)
打換え工法(構造部材)
打換え工法(プレキャスト床版へ)
取替工法(構造部材)
上面コンクリート増厚工法
下面コンクリート増厚工法
RC巻立法
壁増設
支持点増設工法
鋼板巻立法
鋼板接着工法
炭素繊維シート巻立法
炭素繊維シート接着工法
アラミド繊維シート巻立法
アラミド繊維シート接着工法
外ケーブル工法
内ケーブル工法
地中壁・梁増設工法
杭・フーチング増設工法
地盤改良工法
鋼矢板締切工法
根固め工法
グランドアンカー工法
拡幅
架替え
その他の工法
記入事項なし
不明

応急処理(昼間) 数量内訳

区分	規格	単位	数量	適要
土木一般世話役		人	5	
特殊作業員		人	10	
普通作業員		人	25	

位置図

S=1:50,000



一般国道18号 平面図

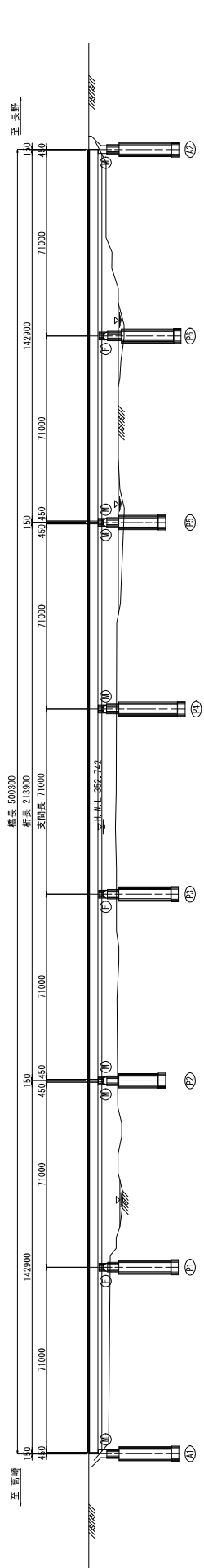
工 事 名	R7国道18号長野大橋梁補修維持(その2)工事		
図 面 名	位 置 図		
年 月 日	令和8年1月 日		
縮 尺	1:50,000	図面番号	4 - 1
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
所 長	副 所 長	課 長	課 長
事務所名	国土交通省 長野国道事務所		

工事箇所：長野大橋

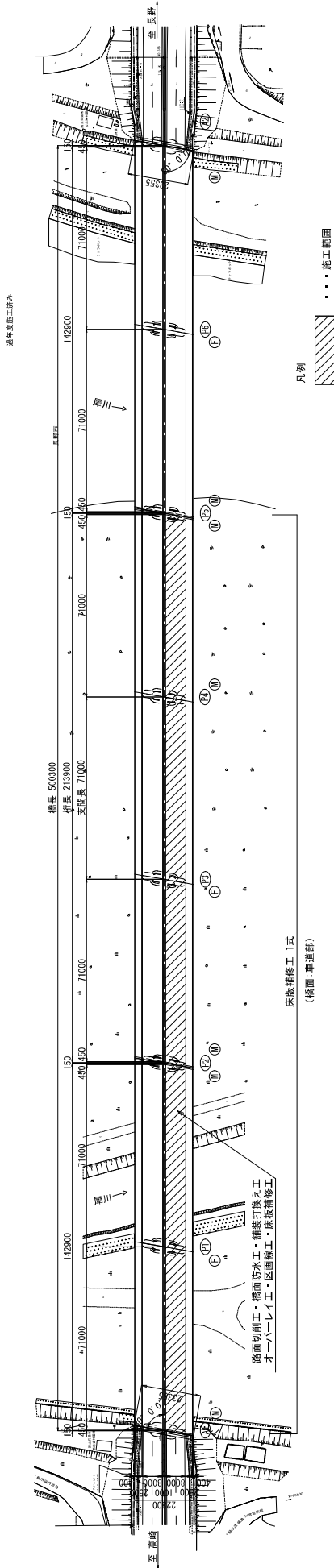
〔自：長野県長野市青木島町網島地先
至：長野県長野市川合新田地先〕

補修一般図

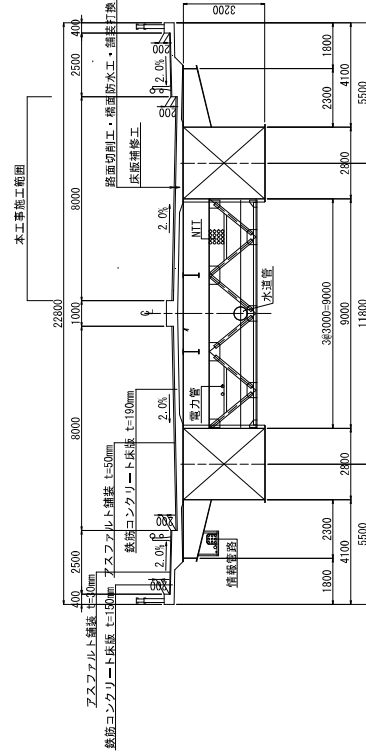
側面図 S=1:800



平面図 S=1:800



上部工断面図 S=1:100



補修工事一覧表

補修工事	適用箇所
舗装工	路面切開工 橋面防水工 補修打換え工
区画線工	オーバースレーレイ工 (P3~A2上り線)
橋梁補修工	橋面 (車道部) (P3~A2上り線) 床版補修工 (床版補修、床版劣化部分除去) (P3~A2上り線)

注記) 1. 施工前、各工程とも現地詳細調査を実施し、施工方法および数量を確定すること。

本図は縮小図の為、
縮尺は表示と異なります。

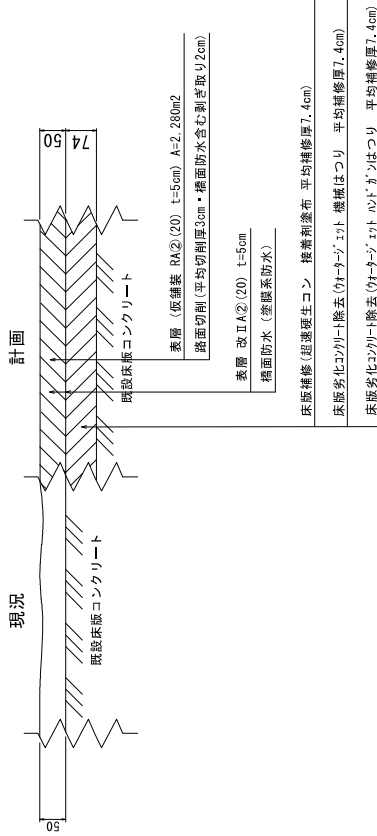
工事名	R77001 1号線橋梁補修工事 (その2) 工事		
図面名	補修一般図		
欄	図示	図面番号	4-2
年月日	令和 8 年 1 月 日		
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
事務所名	国土交通省 京都府建設部		

橋面補修図 (その2)

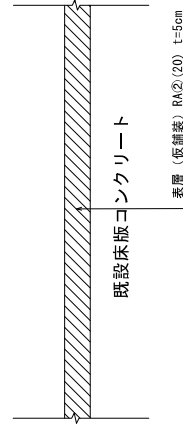
舗装構成図

S=1:5

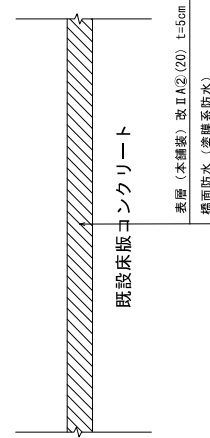
(床版補修標準舗装構成図)



仮舗装 (事前調査時・床版補修時)

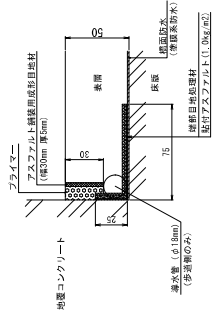


本舗装



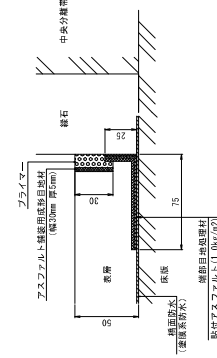
端部防水処理図 S=1:2

車道部 歩道側



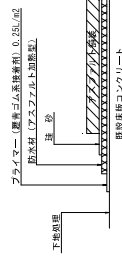
※ 車道補修前については、現状の防水層状況に合わせて、適宜対応すること。

車道部 中央分離帯側



※ 車道補修前については、現状の防水層状況に合わせて、適宜対応すること。

防水層 詳細図 S=1:10



項目	規格	単位	数量	備考
床版防水	透膜系防水	m ²	100	
成形目地材	幅10mm 厚5mm	n	26.1	
埋筋目地処理材	長さ25m×幅75mm	n	26.1	
排水管	ステンレス製 φ100mm	n	12.5	

注記) 1. 施工前、施工時と施工後詳細図表を参照し、施工方法および数量を決定すること。

工事名	R7国道1号豊前橋架設補修工事(その2)上巻		
図面名	橋面補修図(その2)		
欄尺	図示	図面番号	4-4
年月日	令和8年1月 日		
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
事務所名	国土交通省 豊前土木事務所		

本図は縮小図の為、
欄尺は表示と異なりです。